

継続することのよさを実感させる取り組み

— みんなで成長した軌跡in北京 —

前北京日本人学校 教諭

高知県高知市立潮江小学校 教諭 細川 晃

キーワード：在外教育施設，北京，学級経営，総合的な学習の時間，保護者

1. はじめに

在外教育施設において、3年間勤務し、過ごすことができた。1年目、2年目と同じ学年を担当し、3年目も小3の担任をすることになった。2年間、北京日本人学校で培った経験を生かし、3年目は、個々の児童に、継続することのよさを実感させる取り組みをしていきたいと考え、指導計画を立てることにした。

高知で教員として勤務していたときにも、子ども達に、継続することで、目標が達成できる取り組みを行ってきた。しかし、その取り組みをする中で、目標というものに十分価値を見出していない子もいた。原因の一つとして、継続することのよさが、あまり実感できてないようであった。そこで、このことを言葉だけでなく、分かりやすく、目に見えるような形にすることはできないだろうかとずっと考えていた。

2. 北京で出会ったカイコガ

今年度も理科で、カイコガの観察をする機会を得た。高知県で、昆虫の育ち方について学習をしたときは、モンシロチョウを飼育し、観察をしていた。北京に来てからは、中国人スタッフのおかげで、カイコガを飼育し、観察をすることができた。

毎年、カイコガを飼育する度に、モンシロチョウと比べ、成長の過程や体のつくりの変化が、目に見えて分かりやすい生き物だと思っていた。そこで「観察記録を使って、継続することのよさを、目に見える形で実感することができれば、目標に価値を見出せるのではないか。」という仮説を立て、実践に取り組むことにした。

3. カイコガの観察

①朝の記録

毎朝、子ども達は、B5の白い紙一枚に観察の記録をつけていった。日付とその日のカイコガの絵、成長の様子を記録するようにした。

カイコガを日々目にすることで、少しの変化にも気づくことができ、成長も実感することができていた。

②休日も飼育

班の中で、カイコガを持って帰る順番を決め、家に持って帰って、観察をするようにした。

〈休日の日記から〉

「カイコ」

「すごい」カイコが糸をはって、まゆを作りはじめました。ほくが虫かごを見たときたんびっくりしました。すごくうれしくて感動してしまって「育ててきて本当によかった。」と思いました。

カイコガ
ようちゅうのようす 5月12日



3cm 6mm で 1mm きのう
よりのびました。
じょうぎにのせるとくねくね
うごいてはかるのが
たいへんでした。

「カイコガ」

土曜日、朝起きたらもうカイコガが全部まゆになっていました。見たら全部白いまゆでした。びっくりしました。日曜日の朝、起きると立派なまゆでした。

4. 自分の目標

①大地の時間

北京日本人学校には大地の時間（総合的な学習の時間）がある。3年生の1学期はテーマを「自分大好き・中国大好き」とし学習を進めることにした。まず「自分大好き」で取り組んだことは、自分のいいところを書くことだった。B5の用紙の中心に、自分の写真を貼り、その周りに自分のよいところを書きこんでいった。子ども達の書いたよいところのほとんどには、今、自分ができることが書かれていた。

②できることを増やす

前時を受け、自分のよいところをさらに増やしていくことにした。そのためには、一人ひとりの自分ができることを増やしていかなければならないと感じた。

そこで、目標を立てさせ、それを実行することにした。

今回の取り組みを「万里の目標」とし、常に意識できるように、一人ひとりの写真が動くような仕組みを考え、掲示した。

子ども達には、2週間後、目標ができていたら、教室の後ろに掲示してある自分の写真を楼（万里の長城にある四角い建物）から楼へ動かせることを説明した。



教室の後ろに掲示した「万里の目標」

③保護者との連携

子ども達が立てた目標は家に持って帰り、保護者に見てもらい、保護者と一緒になって、2週間取り組むようにした。保護者には学級通信で以下のように協力をお願いした。

〈学級通信「にーはお」17号〉の内容

これまで、カイコガの観察をつづけてきました。つづける中で、カイコガの成長を感じてきたと思います。この観察を通して、生き物が成長する様子を見てきました。人間も生き物です。毎日、成長します。子ども達には、よい方向へ成長できるような体験をしていってほしいと思っています。

大地の時間には「自分大好き」というテーマで自分のよい所を発表してもらいます。そのよい所は、これから頑張ることができるようになったことを付け加えてもらいたいと考えています。そこで、次のような項目を書いた用紙を配り、子ども達に書いてもらいました。

ア こんなことができるようになりたいな～。

イ つづけてやってみることに。

ウ 今、あなたが思っていること。

エ 15日（水）に成長したあなたにあなたや友達・家族が思っていること

オ 6月15日（水）の本当のあなたは？（6月15日に書きます。）

アからエは、自分で書いてもらいました。お家に持って帰るので、これでよいか話し合ってみてください。内容や書いてあることを変更してもらってもいいです。それを一度学校に持ってきてもらい、その後、お家に持って帰ってもらいます。コピーを渡しますので、お家でときどき声かけをしてあげてください。オは6月15日（水）にそれができたかどうか確認したいと思います。ご協力よろしくお願いします。

④成長を意識した目標

目標ができたと思う子は「万里の目標」の自分の写真を楼から楼へ一つ移動できるようにした。自分で目標ができたかどうかを判断させた結果、一回目は2名の子ができなかったということで、写真の移動をしなかった。

〈項目オに記入されたもの〉

○自分で毎日できたよ。よくがんばったね。○サッカーを何時間もやったからあしくびが痛くなったから頑張ったと思います。○いろんな友だちとうまくいった。いろんな友だちとなかよくできてがんばったね。と思いました。○ちょっと足が速くなった。すごい。○ありの行列を途中まで言えるようになったから、生まれ変わりました。○できなかった日もあった。できたときもあった。今度は毎日何かやる。○ちょっとときどきめんどくさくなっちゃったけど、その分も今日やって、次は絶対がんばります。○見とり算の、のこりの数がすくなくなった。毎日たいへんだったけど、がんばったね。○すごくすごくがんばったね。本当に頑張ったね。ほくは、すごくがんばったね。○帰ってからすぐ宿題が出来るようになったから、これからもがんばろう。○あんまり上手くできなかったけど、次から頑張る。○トマトパスタのたれを作るときに物を切ったり、皮をむいたりできました。これからも頑張る。○料理関係が好きなのでがんばった。がんばったね。○少しできない時があったけど、ほとんどやっていたから、わり算を早くできるようになってよかったね。○漢字がうまくなったね～すごいね～ ○計算がうまくなってあきらめないようになりました。がんばったね。○体がやわらかくなった！よくできていたぞ。○わたし、かしこくなったかな。がんばってよかった。算数が上手になった。今度は、字を上手にする。がんばって。○デッサンを描こう。マンガのような絵でもいいけど、デッサンをもっと描くようにしよう。でも、よくがんばったね。○テニスが強くなった。すごくがんばったな。○空中のりが安定するようになった。アイドリリング300回達成したぞー！200回もふえたぞー！今度は1000回がんばるぞー！！ ○10問で少し、前より早くできたからうれしかったです。効果がありました。つづけると。○2週間毎日すぶりをして、お父さんに上手いと言われたぞー！！今度はちがう目標にしてがんばるぞー！！ ○少しはできたけど、もうちょっと頑張ったらよかった。○正直あんまり上手くできなかった。けど、少しだけ上手くなれました。○思ったより、早く読めるようになってうれしいな。○2週間がんばった成果で、中国語が上手になった。

5. 価値の高まり

①観察記録をつなげる

一つの班の子ども達がB5の用紙に書いてきた観察用紙を一枚一枚テープでとめ、どのくらい自分たちが記録をとり続けてきたのかを実感できる時間をとった。

感想

つなげる前はどのくらい長くなるのかな～と思いました。つなげたら二十五メートル以上ありました。すごく長くて「すごい。」と思いました。次は、クラスでつなげたいです。

②つなげた記録を意識した目標

子どもたちの全員とつなげたいという願いから体育館で、全員の記録をつなげてみた。1枚から始めた記録がつ

ながると大きなものになるという実感を得ることができたようであった。

この機会を生かし、2回目の目標の取り組みをすることにした。1回目の目標は、自分でがんばりたい目標を掲げて取り組んできた。今回は、観察記録をつなげ的过程中で、友達を意識する意見が子ども達から出てきたため、友達と目標を決めてもよいことにした。

今回も2週間、取り組むこととし、学級通信で保護者の協力を得た。



体育館で全員の記録をつなげた。

③目標の価値

2回目の目標の取り組みの後、すべての子ども達が、できるようになったことが増えていた。できるようになったことが増えたことを受けて、それを自分のよいところとして、前回書いたものに付け加えるようにした。どの子どもも前回書いたものより自分のよいところを増やすことができた。増やすことができたことで、目標に向かって取り組むことへの価値を以前より見出すことができたようであった。

6. まとめ

継続することのよさを目に見えるような形にする取り組みは、目標に向かって取り組んだことが少ない子ども達にとっては有効であった。

1回目は、日々の観察を通してカイコガの成長を自分自身の成長と照らし合わせながら取り組むことができていた。

2回目は、観察記録を実際に並べ、継続することのよさを実感し、目標の達成に向かって取り組みをすることができた。

継続することのよさが分かってくる度に、子ども達の目標に対する意識の高まりを感じる事ができた。

万里の目標は、個人の目標から友達との目標へと変化していった。友達から、グループへと目標を高め、継続することのよさをさらに感じていけるようにすることができた。

7. 最後に

北京でカイコガを観察する中で、子ども達と共に成長できる機会を得ることができた。海外にいながらも、日本と同等の以上の教育環境で、目標に向かって、子ども達は生き生きと学校生活を送ることができていった。

このような実践をすることができる場所で仕事ができたと心より感謝している。3年間、私と関わっていただいた全ての皆様に感謝の気持ちでいっぱいである。